

## 大正大学フィードバックレポート（としま案内人・留学生まちあるき）

2024年6月4日実施

大正大学地域創生学科 出川ゼミ

### ■はじめに

6月4日にとしま案内人駒込・巣鴨や早稲田案内人の方々と早稲田大学外国人留学生に巣鴨地蔵通りを案内しました。私たち出川ゼミの学生は、コンソーシアム巣鴨花街道の店舗を調査し、遍歴や特徴に関して紹介する事を担当し、当日までの事前調査や店舗のアポイントメント、および当日の店舗紹介に取り組みました。

### ■各班のふりかえり

A班：大山 蓮太郎

#### ・当日の経験（よかったこと、反省点）

実際に自分が巣鴨地蔵商店街のワークスペースで授業をしていることを紹介したが何故そこで使われているのか留学生などに質問されたりして、どうしてそこを利用しているのか理由など考えさせられた。留学生からもっと日本語を話せるようになるためにどうすれば良いのか？質問されたので、高校の親友の一人だった韓国人の上達の上手さを感じ話しながら自分なりに簡単なアドバイスをした。



#### ・成長実感

アポ取りに関してどの様な手順や話し方をして店とコンタクトすればいいのかその過程を学ぶことが出来た、実際に説明を話す際に店について相手は外国人であり何故100円均一を利用しているのか理解できなと感じたため、自分の家族を実例としてどの様な理由から利用しているのかインタビューして実態やリアリティを知って貰おうと努力したところが成長したところではないかと思う。

#### ・今後に向けた課題、

留学生自ら調べたりなどしていたのでそのような必要が無いように詳しい内容・詳細などに関して情報を共有する。店の紹介など時間が短くなってしまったため必要なものに関して絞って説明し時短をする必要がある。

B班：北野 凜

#### ・当日の経験（よかったこと、反省点）

私自身がとても人見知りなので留学生の方とうまくコミュニケーションをとれるか非常に不安でしたが、留学生の方が思っていた以上に日本語が達者でたくさん質問してくれた

り、話しかけてくれたのでよかった。それと同時に自分があまり話しかけることができなかつたり、求められている答えを返せなかったことが反省点だと感じました。

・成長実感（学んだこと）

留学生の方の学びの姿勢が非常に良く、説明している人への真剣なまなざしや態度が素晴らしかった。また、熱心に話を聞いていただけでなく、興味津々になって質問をいくつかしていたのが印象的だった。その留学生の姿を見てこの学習意欲の高さや、傾聴力を自分も真似していきたいと思った。

・今後に向けた課題

自分から積極的にコミュニケーションを取りに行くということ、急にされた質問に対しても的確にこたえられるようにする



C班：南澤 勇樹

当日の経験（よかったこと・反省点）：早稲田大学外国人留学生の巣鴨地蔵通り街歩きに際して事前準備を行い、私が大学生活を送りながら関わってきたガモール施設の詳細について考える機会となった。また、大正大学の学生として、自分が通う学校の歴史や教育方針を理解する責任を改めて感じながら、堂々と説明することができたと思われる。

しかし、大学敷地内が文化祭準備に集中している時間帯であることを考慮し、迷惑にならない場所で説明を行うべきだったという反省が残った。また、案内人の方が説明をする際に、参加者が信仰する宗教に配慮する場面があったことから、あらかじめ考えておくべき事情に注目すべきだったという気づきもあった。

・成長実感

今回の街歩きで獲得した個人的な成果は、大正大学に誇りを感じられた事だと考えている。もともとは、大正大学が仏教関連の学習に重点を置いた大学であるため、その教育方針に私が学びたい分野への支援は望めないと思い、地域創生学科生として学習を進めてきた。しかし、街歩きの事前準備で収集した情報は、大学が学生の学びを



支援するような施設づくりをしてきた事が伺える内容であり、今後は大正大学の一員である意識を持ちながら大学の機能を最大限活用していきたいと考えている。

今後の課題：

今後は、反省として挙げた内容に対して、フィールドワークで同じミスが起きないように心がける事が考えられる。

D班：鈴木 雅彦

・当日の経験（よかったこと、反省点）

今回の街歩きでは屋台が出ていて去年の街歩きよりも賑やかで留学生の方達にもいつもよりも日本らしい雰囲気味わってもらえたと思い良かった。あとはガイドさんの時間管理が完璧であったため留学生が困ることなく街歩きを終えることが出来た。反省点としては満遍なく話しかけることが難しかったという事だ。どうしてもガイドさんが先頭で案内して、私が後方にいて補足説明をするという陣形だったのでしょうがないかもしれないが、店に入ったときやお寺に入ったときなどに先頭にいた人たちにも話しかければよかったなと振り返りながら感じた。

・成長実感

私は2回目の街歩きだったのですが、去年は中々話しかけるのが難しく誰とも親しくなれないまま終わってしまいました。その反省を生かして今回は最初から様々な人に積極的に話しかけに行くことで自分の緊張を解くと同時に留学生のみなさんの緊張も解き、話しかけやすい雰囲気を出すことを意識しました。その成果もあってか、留学生の方2人とSNSを交換する程親しくなることが出来ました。

・今後に向けた課題

街歩きの時間が短くゆっくりとめぐることが出来なかったと感じました。そのため1.2限のように2つの時限が繋がっているときに街歩きを行う事が出来たらベストであると感じました。

E班：平間 健太郎

・当日の経験（よかったこと、反省点）

私としては活動時間の短さや初めて会う留学生の方たちとどう話せばいいのかを悩んでいましたが、皆さん日本語がとてもお上手でフレンドリーだったのであまり緊張することなくガイドをすることができました。日本に親戚がいるからという理由で日本にやってきた留学生の方とガイドの合間に話をしたのですが、私の友人が同じ理由で日本から外国に行ったこともありそのあたりの話題をもっと聞きたいなと思いました。短い時間ながら留学生の皆さんに楽しんでもらえていたようなので良かったです。

・成長実感

相手の国の言語や文化が分かっていると打ち解けるのが早くなるんだなと早稲田案内人

の方のガイドを見ていて思いました。今回の件で自分も語学力や外国の文化についてもっと学ぼうと思うようになりました。

- ・ 今後に向けた課題  
事前の情報交換や交流

F班：森 都波

- ・ 当日の経験（よかったこと、反省点）

留学生の方達が明るく、いろんなことに興味を持ってくれていたのでたくさんコミュニケーションが取れた。私も楽しめたし、留学生の方達も楽しんでいたので良かったと思う。反省点は、自分の担当のところしか紹介する準備をしていなかったのので、当日振られた場所の紹介ができなかったこと。

- ・ 成長実感

今回の経験を通して、まちの歴史を知ることの面白さを学んだ。まちにある看板を読んでみるだけでも街の歴史や日本の文化の成り立ちなどが知れて、知らなかった日本の面白い風習も知ることが出来た。もともと民間伝承に興味があったので、まちあるきで歴史や文化まで知れて楽しかった。

- ・ 今後の課題

もっと事前調査をしておけば自分も活動をもっと楽しめて損がないし、困ることもなかったと思うので気を付けたい。



#### ■おわりに

今回のまちあるき活動を通して、出川ゼミの学生それぞれが様々な視点から学びを得ることができました。また、留学生の方たちと交流するといった貴重な経験をさせていただきました。今回学んだことを実習や研究に活かしていこうと思います。ありがとうございました。